

「地方の元気再生事業」のイメージについて

1. スケジュールのイメージ

- 年度当初～1ヶ月半程度
 - ・募集要綱を公表し、提案を募集。
- その後～夏頃
 - ・地方連絡室において本事業の応募提案を整理し、各ブロックの地域活性化推進連絡会議、地域活性化戦略チームの検討・助言を経て、案件を採択。提案された内容に最も関係する省庁に予算を移し変えた上で、提案の応募者と調査委託契約を締結。
- 年度末
 - ・地域活性化戦略チームの検討・助言を経て、プロジェクトの成果を評価。

2. 応募主体のイメージ

- ①地域活性化に取り組む法人（NPO等）（地方公共団体の推薦が必要）
- ②地方公共団体
- ③地方公共団体を構成員に含む法人格なき協議会
（契約主体となる構成員、協議会の規約（意思決定方法、会計管理方法等）、構成員間の役割分担等の決定が必要）

3. 地方の元気再生事業の応募に際してあらかじめ準備が必要となるもの

- ① 地方の元気再生事業及びその後の本格展開を通じて実現しようとする地域活性化の全体構想
- ② 地域の経済・産業の動向、雇用情勢等の地域の課題や、これまでの関連する取組などの提案の背景
- ③ 平成20年度に地方の元気再生事業として実施しようとする取組の、
 - 具体的な目標（取組の効果の測定が可能な数値目標等を設定）
 - 取組内容
（プロジェクトの立ち上がり段階での地域の合意形成やプロジェクトの検討に向けたソフト面の取組。具体的には、人材育成や専門家の派遣等の取組や社会実験・実証実験等の取組、これらに関連して必要となるシンポジウム、説明会の開催、PR等。ハード整備は対象外。）
 - 実施体制（関係者間の役割分担等）
（原則として国と調査委託契約を締結した受託者が自ら提案に基づく取組を実施。取組の一部を再委託する場合、委託者からあらかじめ承認を得ることが必要。協議会による提案の場合には、協議会の構成員ごとの役割分担の範囲内で協議会の構成員に対し、再委託を行うことができる。）

- スケジュール
 - 必要経費の概算
- ④ 平成21年度以降に展開を予定する取組内容及びスケジュール

4. 「地方の元気再生事業」として行われる取組の目指すべき方向性

① 複合的な取組

地域産業振興、観光振興、農林漁業振興、生活交通の確保などの様々なテーマを有機的に組み合わせ、地域活性化を実現する複合的な取組

② 先導性・モデル性のある取組

地域が抱える課題を民の発意を起点とした先進的な発想や手法を用いて解決し得る先導性を備えていることにより、他の地域の取組の参考となり得るモデル性を有していること

③ 持続性ある取組

一過性の取組に終わることなく、地方の元気再生事業を通じて地域の担い手の自発的やる気を引き出すことにより、取組が本格的な展開へとつながる持続性ある取組

④ 相乗効果・波及効果の見込まれる取組

他の取組と連携すること等により当該取組との相乗効果・波及効果が見込まれる取組

⑤ 主体的な取組

地域の関係者が各々明確な役割分担の下、自ら判断し自ら実行する実施体制を確保している等の主体的な取組

⑥ 計画性ある取組

地域活性化の全体構想が明確かつ具体的であり、かつ、当該構想の実現に向けた取組が整合的であるなど、目標達成に向けた計画性ある取組

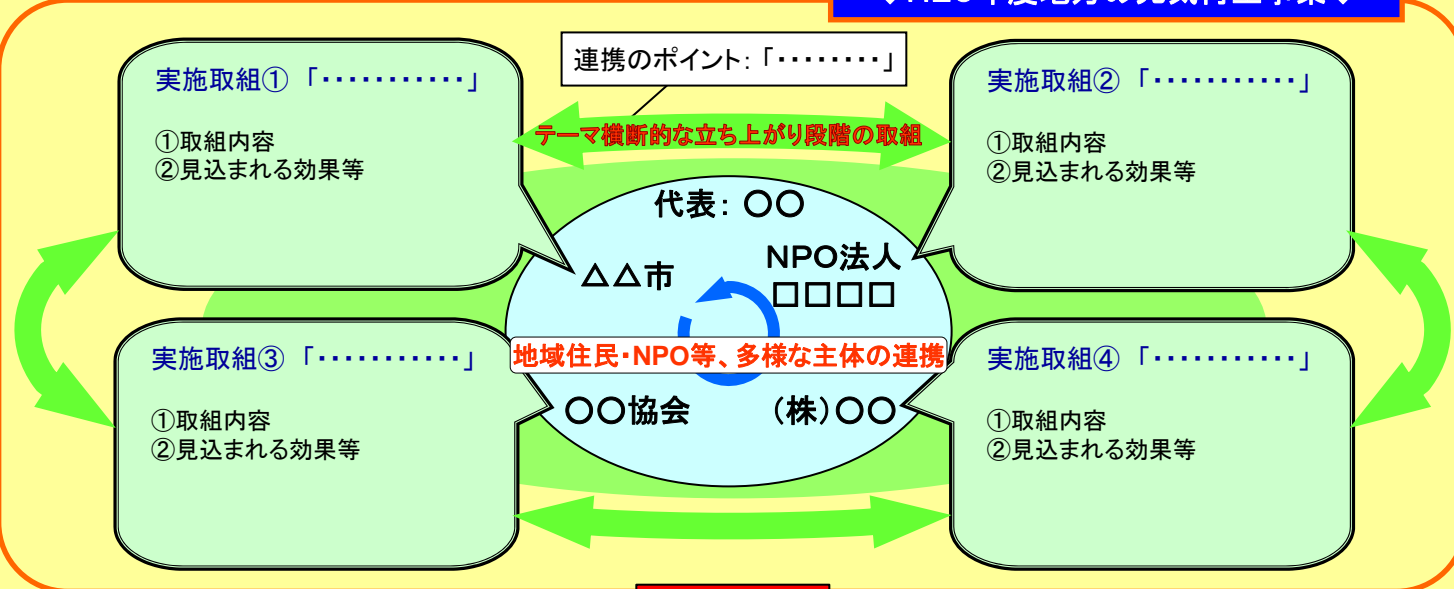
地方の元気再生事業 提案イメージ

地域の現状と課題(提案の背景)

・雇用、高齢化率、地域医療、観光、...

目指すべき地方再生の全体像

◆H20年度地方の元気再生事業◆



◆実施スケジュール◆

H20年〇月	〇〇協議会設置
H20年〇月	実施取組① ...
H20年〇月 ~ H20年〇月	実施取組② 〇〇に関する実証実験 実施取組③ 〇〇に関する調査
H21年〇月	実施取組④ ...
H21年〇月 ~ H21年〇月	本格展開に向けた調整
H22~H2・年	・ハード整備その他の 本格展開 ①... ②... ③...

◆H21年度以降の展開◆

- ・〇〇NPOと〇〇協会の連携による〇〇の事業化(H21~)
- ・〇〇整備 (△△市) 〇〇交付金:H21~
- ・...
- ・...

◆地方再生の目標像◆

・雇用増、定住促進、観光客数増、...